

一般質問発言通告書

発言順位 5番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年2月14日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 8番 大石 一太郎

質問事項1	未来を拓く都市経営、財源確保に向けた政策展開について
具体的内容	財源なくして経営なし、未来志向の政策展開が必要な時、政策の選択と集中が大切。
1 企業誘致に向けた土地利用政策への果敢な取組について	熱海の土石流災害に伴い、盛土規制法が制定、大規模盛土は届出制から許可制になり基準が強化され、立地選定に影響するが、選定条件及び今後の企業誘致方針について伺います。
2 ふるさと納税制度の活用と寄付額の増加政策について	三島市の令和3年度実績は県内26位、約2億円でした。令和4年度の見通し額と、沼津市等との取組の差は何か、今後の事業展開、取組の手法について伺います。
3 幹線道路網の整備と税収効果を上げる開発用地の創出について	西間門新谷線については、土地開発公社を活用した先行買収、交付金を活用した道路工事を行い、竣工予定を早めることはできないか伺います。また大場地区、玉沢地区に、地元調整も含め新谷・梅名・平田地区を加え、3地区への企業誘致で財源確保を図ることが、5年後10年後の市の政策・財政運営にとって最優先に取り組むべき課題と考えますが、市の方針を併せて伺います。
質問事項2	三島駅南口の都市再開発事業と南北自由通路の整備について
具体的内容	三島駅南口の再開発と周辺整備は、市の都市の顔、活性化の拠点であり、市民の期待が高い事業。再開発ビルを中心に周辺整備による都市機能の集積と南北自由通路の整備促進を。
1 三島駅南口整備にあたり、世界的な資材価格の高騰と円安が事業に影響を与え、実施設計等の見直しで事業が延伸されるが、最終完成見通し、また事業効果予測・費用便益分析の実施時期、増額予測される市の負担を際限なく認めていくのか伺います。	
2 法定再開発事業は、建設工事費と保留床処分価格等、各段階での決定プロセスの透明性、公平性が必要とされ、また個々の地権者の利害調整面では、個々の主張の妥当性が求められます。全てを組合に委ねるのではなく、補助金執行者として、市の意思決定、判断基準が大切と考えますが、市民利益をどのように担保していくのか伺います。	
3 事業用定期借地事業への導入機能・進出業者は内定しているのか伺います。また南北自由通路の実現も長年の課題、ビルの3階フロアの一角に、在来線上空を南北に繋ぐ跨線橋の南側ゲート機能を設けておくことはできないか併せて伺います。	
質問事項3	人を幸福にする福祉社会の実現に向け、政策の充実と具体的対応について
具体的内容	地方行政の主要政策は、住民自治と福祉社会の実現、今後の取り組み方針等が重要。
1 少子化対策では、人口政策で国も市も合計特殊出生率1.8を目標とするが、市の現状は1.49、長泉町は1.8、政策内容の違いは何か。また経済面で第2子の0歳から2歳児の保育料を無償化する等今後の子育て支援、少子化対策の重点施策について、また国に呼応し、子供の生活保障と平等、人権等を守る取組を図るため「子ども審議会」を発足、協議する考えはないか併せて伺います。	
2 高齢化対策では、在宅の要介護者を支える家族介護、訪問・通所介護事業所や介護施設の経営継続、医療看護介護連携と地域包括支援センターの充実、介護人材と質の確保等多くの課題を抱えています。2025年問題に向けた市の高齢者対策の優先課題、また介護給付費の抑制に向けた健康維持等の対策、増加する認知症患者に対する見守り連携の強化方針について伺います。	
3 生活困窮者・貧困家庭対策等格差拡大社会に対し、市民生活の安定に向けた取組が必要。一人親・一人暮らし高齢者・生活保護受給者への生活・経済支援策の充実と実態調査、何より子どもの未来に繋がる貧困の連鎖を断ち切る生活困窮者対策について市の方針を伺います。	